

平成22年度事務事業実績及び前期4年間取組評価表

事務事業名	飯喬道路関連事業(単独)	会計	一般会計	事業No.	606	施策順No.	44-018
		事業種別	政策・重点	予算科目	8-2-3-13-13		
政策	4 暮らしと生命を守る安全安心で快適なまちづくり			課等名	国県関連事業課		
施策	44 交通機関と道路の充実		事業期間	開始	7	終了	

1 事業の目的

事業の目的は「対象」を「意図」した状態にすることです	対象	沿線地区に居住する市民						A十分達成した Bどちらかといえば達成した Cどちらかといえばできていない Dほとんど達成できていない
	誰、何に	具体的な数値で表すと(対象指標)	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	
		山本、三穂、川路、千代、龍江、下久堅、上久堅地区の居住者数		19502	18570	18519	18519	
	意図	三遠南信自動車道の円滑な推進						
対象をどう変えるか	事業の成果を具体的な数値で表すと(成果指標)	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度目標	22年度実績	23年度目標	目標達成度
	飯田市内の三遠南信自動車道(飯喬道路)供用延長	7.2	7.2	7.2	7.2	7.2	7.2	A
22年度の目標達成度に対する振り返り【政策的事業のみ評価】	飯喬道路2工区の工事も全線で発注され、道路形状が確認出来る様になってきた。							

2 手段(具体的な取り組み内容)

事業の制度(仕組み)説明	三遠南信自動車道の建設に起因する取付等関連市道改良工事、同自動車道の雨水排水を受ける河川、排水路の整備改修工事。		
	事業内容	名称	活動量・単位
22年度事業内容	国土交通省、地元及び庁内他部署との調整 道路改良工事 8路線(市道1-68号線・市道1-75号線・市道2-38号線・山本135号線・山本339号線・上久堅119号線・下久堅8号線・下久堅119号線) 河川改修 1路線(龍江 樋ヶ沢川) 用排水路改修工事 2路線(山本湯川・上久堅大鹿) 整備工事 3カ所(千代IC周辺) 測量委託 1カ所(上久堅大鹿)	工事箇所数	15カ所
23年度実施計画	国土交通省、地元及び庁内他部署との調整 道路改良工事 9路線(千代96号線・龍江145号線・櫛平線・龍江176号線・上久堅119号線・上久堅122号線・大峰線・久米線・横山線) 用排水路改修工事 1路線(上久堅大鹿)	工事箇所数	10カ所

3 事業コスト

事業費	特定財源	(千円)	22年度予算額	22年度決算額	23年度予算額	特定財源内訳、補足事項	(県)高規格幹線道路建設関連市町村道等改良事業補助金(1/3)
	国庫支出金						
	県支出金		4,000	4,000	4,000		
	起債						
	その他						
一般財源		47,850	47,849	106,763			
計(A)		51,850	51,849	110,763			
正規職員所要時間			1,600				
臨時職員等所要時間			200				
人件費計(B)			5,937				
トータルコスト A+B			57,786				

4 事業に対する市民や議会の意見

各地区から三遠南信自動車道に関する要望がある。 議会からも、三遠南信自動車道整備に強く関心があり、議会の質問に出ている。

5 行財政改革の取組内容【経常的事業のみ評価】

行財政改革の取組区分	【記載不要】	具体的な取組事項	【政策的事業のため記載不要】
21年度決算と比べての効果額(千円)	【記載不要】	効果額説明(算出根拠)、特殊要因	【政策的事業のため記載不要】

6 前期4年間の取組評価(総括)

上位の施策への結びつき	上位施策の目的	市民、市内滞り者、財産、事業者が、便利で安全に移動ができる	施策の成果指標又はムトス指標	市内の移動に不便を感じる市民の割合(道路)
この事務事業は施策の目的達成にどのように貢献しましたか	4年間の振り返り	三遠南信自動車道建設の促進を図るため、起因する取付等関連市道改良及び雨水排水を受ける河川・水路の整備工事を実施し、事業の進捗を図った。		
	後期に向けた課題	地域、地権者からの要望が増加している。		
この事務事業の成果を向上させるためにどのような工夫をされましたか	4年間の振り返り	三遠南信自動車道建設の促進を図るため、地域、地権者との調整を実施した。		
	後期に向けた課題	地域、地権者からの要望が増加している。		
コストを削減するためにどのような工夫をされましたか	4年間の振り返り	既存施設を利用した改良計画をし、事業費の削減を図った。		
	後期に向けた課題	工法検討により事業費の削減を図る。		
受益者負担の程度、市が関与する程度は適切でしたか	4年間の振り返り	飯田市が管理する施設の為、管理者として実施している。		
	後期に向けた課題	今後も管理者として事業を実施する必要がある。		
多様な主体の役割の発揮状況 ①その主体は誰で、どのような役割を果たしましたか。 ②その主体が役割を發揮するために、行政はどのような働きかけをしてみましたか、又は、配慮してありましたか	4年間の振り返り	①管理者は飯田市であり、安全を確保する必要がある。 ②管理者として安全の確保と利便性の向上。		
	後期に向けた課題	今後も三遠南信自動車道建設の促進を図る為、飯田国道事務所と協力していく必要がある。		
全体を通じて	4年間の振り返り	三遠南信自動車道建設の促進を図るため、地域、地権者との調整を実施した。		
	後期に向けた課題	地域、地権者からの要望が増加している。		

7 「対象」「意図」「結果」の関係の確認

事務事業を統合・分割する必要はありますか	ない	対象や意図を修正する必要はありますか	ない	成果指標や指標値を修正する必要はありますか	ない
----------------------	----	--------------------	----	-----------------------	----

8 総合評価・次年度の事業の方向性改善の計画

<input type="checkbox"/> 完了	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 別事業に統合	<input type="checkbox"/> 休止廃止	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善
-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	---------------------------------	-------------------------------	--	--------------------------------	--